



オンラインで連携協約を締結した前後町長

## 災害時に行政区域を越えて支援

### こおりやま広域連携中枢都市圏

本町や郡山市などの16市町村でつくる「こおりやま広域連携中枢都市圏」では、水害や土砂災害などの自然災害に対応するため、圏内の16市町村を4つの支援ブロックに分け、ブロック内で職員を派遣する相互支援体制を新たに築きました。本町は、二本松市、本宮市、大玉村と同じAブロックに区別されています。連携協約締結式は7月8日にオンラインで行われ、各首長が協約書に署名、押印しました。

## 磐梯山噴火犠牲者を追悼

### 磐梯山噴火殉難者供養祭

明治21年の磐梯山噴火犠牲者を追悼する磐梯山噴火殉難者供養祭は7月15日、西勝寺で執り行われました。磐梯まつり実行委員長の渡部常男町商工会長が「132年前の7月15日早朝に磐梯山が噴火しました。噴火による尊い犠牲を忘れず、教訓として後世に伝えるとともに、磐梯山の美しい自然を残していきます」と式辞を述べました。読経の後に参列者が焼香し、470人余りの犠牲者を追悼しました。



犠牲者を追悼し焼香する渡部実行委員長

## 小中学生にマスクなど贈る

### 猪苗代ライオンズクラブが寄贈

猪苗代ライオンズクラブは6月25日、町内の小中学生に新型コロナウイルスの感染予防に役立ててもらおうとマスク2,000枚と消毒用アルコールジェル12個、非接触型体温計12個を寄贈しました。贈呈式は同日、町役場で行われ、同クラブの山口剛会長と渡辺真一郎幹事、佐賀幹雄事業委員長が宇南山忠明教育長に手渡しました。山口会長は「地域の子どもたちの感染予防に役立ててもらえれば」と話しました。



マスクなどを寄贈した山口会長(左から2人目)ら

## 郵便局のネットワークを活用

### 町と日本郵便が包括的連携に関する協定を締結

「猪苗代町と日本郵便株式会社との包括的連携に関する協定」の締結式は7月27日、町役場で行われ、前後公町長と日本郵便の小野寺博信郡山郵便局長、大竹伸明猪苗代郵便局長が協定書に調印しました。協定書には「防災活動および大規模災害発生時の対応に関すること」、「高齢者や子どもなどの見守り活動に関すること」、郵便局のネットワークを活用した「地域の経済活性化に関すること」など6項目が盛り込まれました。



協定を締結した右から小野寺局長、前後町長、大竹局長



緊急特別展の展示パネルを紹介する竹田理事長

## Pick Up

### 今月のイベント

## 野口英世記念館緊急特別展「感染症世界大流行の歴史」

野口英世記念館では、7月16日から来年3月18日まで、新型コロナウイルスの感染拡大を受けた緊急特別展「感染症世界大流行の歴史」を開いています。緊急特別展では、かつて人類が滅ぶかもしれないほどの世界的な大流行となった天然痘やペスト、梅毒、野口英世博士の母シカモかかり死因となったスペイン風邪について、写真や絵のパネルなどの資料14点を展示しています。展示を通じて、これらの感染症の歴史を振り返るとともに、梅毒の研究で高い評価を受けた野口博士の業績を紹介しています。

元国立感染症研究所長で野口記念会の竹田美文理事長は「新型コロナウイルス感染症が世界的に大流行している今だからこそ、感染症の怖さを知り、人類が感染症を乗り越えてきた歴史を学んでほしいです」と話しました。

また、同館では野口英世渡米120年記念特別展「野口英世世界の舞台へ」を開催しています。今から120年前の1900年に野口博士はどのような思いをもって単身でアメリカに渡ったのか。その思いを恩師に宛てた手紙や写真から紹介しています。両展とも通常の入館料で鑑賞できます。

## まちの応援マガジン いなわしろ 広報猪苗代

Aug.2020  
8  
No.718

### 今月の表紙



7月は雨の日が続きましたが、この日は気温も上がり、ひまわりこども園の子どもたちが元気に水遊びを楽しみました。

【撮影日】 7月27日  
【撮影場所】 ひまわりこども園

## Contents — 【目次】

- 02 Pick Up
- 03 まちのわだい
- 04 国民健康保険税のお知らせ
- 06 マイナポイント事業が始まります
- 08 令和2年度狂犬病予防注射のお知らせ
- 10 笑顔でこんにちは／地域おこし協力隊通信 ほか
- 12 いなわしろタウンページ
- 16 暮らしの情報広場
- 18 みんなの美術館／食生活改善推進員コーナー